開校50周年 校訓:明るく・仲よく・たくましく「あ・な・た」を大切にする心のふるさとパリ日 depuis 1973

BLA文化学院 パリ日本人学校



令和5年度学校だより 第12号 令和5年12月22日発行 パリ日本人学校 校長 伊藤 博

2学期終了! ~終業式 校長の言葉から~



シャンゼリゼ通りではイルミネーションを 見物する人で毎日にぎわっていますが、パリ 日のホールでは保護者から寄贈していただ いたクリスマスツリーが毎朝子供たちを温か く迎えています。

本日は2学期の終業式。9月1日の始業 式に「授業日80日は、一年で最も長い学期



で、I 学期以上に充実した日々になるはず。」という話をしました。2学期は先生方や友達の良さも分かってきた中で、開校50周年記念式典や「パリ日祭」を経験し、そこでたくさん活躍する場面が見られました。

また、始業式で「一歩前へ!」という言葉も贈りましたが、皆さんが「マロニエ」に書いた文章からは大きな前進を感じました。本日は2学期の通知表を受け取ります。家族でこの2学期を振り返って、「伸びたところ、もっと伸ばしたいところ」をはっきりとさせて、新しい年と1年最後の3学期に備えましょう。

さて、アメリカのメジャーリーグで二刀流の選手として活躍している大谷翔平選手が、ここでエンジェルスからドジャースへの移籍が決まり、年俸がスポーツ選手で最高額になるというニュースが話題を呼んでいます。彼がプロ野球で二刀流を始めたころ、誰もそれが実現できるなどと思っていませんでした。しかし、2023 年には打者としてホームラン44本を打ちホームラン王となり、投手としてもチームトップの10勝を記録し、文字通り二刀流を実践して MVP にも選ばれました。

その大谷選手ですが、花巻東高校時代に実践していた目標達成シートが話題となっています。実は5年生の 道徳科の教科書に、このことが紹介されています。彼は「8球団からドラフト」位指名」を受けるという最終目標 のために、8つの目標を具体的に立てました。そのうち、野球に直接関係する「スピード」60キロ以上」「変化 球」「キレ」「コントロール」「体力づくり」は、スポーツ選手として当然の目標と思えます。しかし、それ以外の目 標に大谷選手の素晴らしさが隠れていると感じます。

「メンタル」では、「仲間を思いやる心、はっきりとした目標目的を持つ」

「人間性」では、「思いやり、礼儀、感謝、信頼される人間」

「運」では、「あいさつ、ゴミ拾い、部屋そうじ、道具を大切に、本を読む」

といった言葉が見られます。誰もが同じ目標を立てたからといって、大谷選手のようになれるとは限りません。しかし、アスリートとしての彼を作っているのは間違いなく体力面や技術面の向上

だけではないようです。新しい年の始まり、新しい学期の始まりに、大谷選手のような目標設定も参考にしてみてはどうでしょうか。

最後になりますが、年末年始は日本の伝統行事を意識する絶好の機会です。 今はフランスにいますが、大掃除や大晦日、除夜の鐘、初日の出、お節料理、初 詣、お年玉、初夢、書初め、七草がゆなど、日本の伝統文化に少しでも触れられ るといいですね。では、皆様どうぞ良いお年をお迎えください。



終業式 代表の言葉から

※原文は縦書き

二学期に学んだこと 小学部3年生 SU

僕は次の三学期に向けて、何をどうがんばればよいか整理するために、二学期をふり返って考えてみました。一つ目はパリ日祭です。ぼくはげきでベートーベンの役をしました。げきの中で大事な役にちょうせんするのは初めてでした。初めは不安でしたが、練習をたくさん積み重ね、本番ではどうどうとむねをはってステージに立つことができました。 二つ目は勉強です。三年生になって学校の勉強もむずかしくなってきました。最初は分からなかったところも、家でふく習して分かるようになりました。一番ぼくががんばったのはえい語です。リスニングをしたり、単語をおぼえたりして、だんだんと分かるようになってきました。



三学期はていげんフォーラムとえいけんがあります。二学期に学んだ、初めてでも練習を積み重ねれば自信がつくこと、分からなくてもあきらめずに努力することをわすれず、取り組んでいきたいです。

ニ学期の反省と卒業に向けて 小学部6年生 KU

九月から始まった二学期も今日で終わります。二学期はたくさんの行事がありました。皆さんの一番の思い出は何ですか。私は、「パリ日祭」の六年生の劇「Les Vikings」が一番心に残っています。楽しいことも、辛いこともありましたが、クラスで一致団結して取り組むことができました。そして、友達と協力することやお互いに支え合うことの大切さを学びました。劇の準備では、役割分担、時間配分、台詞の変更など、毎日やることが多く、様々な壁にぶ



つかりました。パリ日祭の直前になって、私にとってとても辛い出来事が起こりました。一生懸命作った小道具が壊れているのを発見したのです。私は思わず涙がこみあげて、心が折れてしまいました。すると、友達がすぐに集まってきて、一緒に直し、励ましてくれました。私は胸がジーンと熱くなりました。みんなのおかげで、気持ちを切り替えて、準備や練習に打ち込むことができました。

パリ日祭の当日は、クラスみんなで力を合わせて、最高の劇ができたと思います。仲間と共に助け合いながら、同じ目標に向かって歩み続けて良かったです。楽しいことばかりではなく、苦しいこともたくさんありましたが、より良い劇にしようと、真剣にぶつかり合ったからこそ、大きな達成感を感じることが出来たのです。

私たち六年生は、あと三か月で小学部を卒業します。大好きなクラスメートともあと少しでお別れです。みんなと勉強やスポーツ、学校行事に切磋琢磨した日々を決して忘れません。卒業式に全員で元気に羽ばたけるよう、残りの学校生活を大切に過ごし、門出に立つ準備をしていきたいです。

My future 中学部3年生 KK

Today I am going to talk about what I tried hard in this year, and my goals for my future.インターナショナルスクールへの進学が決まってから約三か月。嬉しさや楽しみでいっぱいですが、一方で不安な要素もあります。それは学校生活の全てにおいて英語を使用しなければならないということです。僕は今までほとんど生活の中で英語を話す機会が無かったため英語での会話ができるか不安でした。それらを克服するために今学期、僕



はフランスという日本より英語と多く関わることができる環境を活かし、沢山英語に触れる機会を作ってみました。例えば世界中から人々が集まる撮影スポットに行き、共通の趣味を持つ写真家の人達と英語で会話をしてみたり、普段の学校の生活の中でも先生や友達と英語で会話をしてみたりとある程度英語に慣れて会話できるようになる練習を積み重ねてきました。その結果、自分の言いたい事がスラスラと出てくるようになり前より表現の幅が広がり、様々なシチュエーションでもあまり焦らないで話すことができるようになりました。この取り組

みは今後も続けていきたいです。会話に余裕が出てきたこれからは駅やお店などで流れている放送を聞き取り、瞬時に理解できるようにするリスニング力を鍛えていき、相手に伝えたいことが正しく伝わるように正しい文法を覚えることにも力を注いでいきたいと思います。インターナショナルスクールに進学するにあたって他国の文化や価値観の違いによって苦戦することがあるかもしれませんが、そのような時には持ち前のコミュニケーション力や明るさを保ち、自分らしく振舞えるように頑張っていきたいです。I always want to smile in my school life. I want to believe in myself. So please believe in yourself!

小学部4年生 オルセー美術館見学

12月1日の金曜日に4年生がオルセー美術館を見学しました。世界中の美術ファンが注目する絵画が勢



ぞろいのこの美術館は、元駅舎でしたが、 I 986年に美術館として改装されました。入館後、自由の女神像の横で美術館誕生の頃の映像を視聴し、歴史について学びました。続いてミレーの「落穂ひろい」「晩鐘」などの作品を鑑賞しました。もし、日本でこの2点が同時鑑賞できる展覧会があるとしたら、おそらく長蛇の列ができることでしょうが、4年生はゆったりのんびりと鑑賞できました。

その後、5階に上がり、モネやマネ、ルノワール、ドガ、ゴッホらの名画を鑑賞しました。最後にポンポン作の「白熊」を模写しました。4年生は鑑賞態度や模写している時の集中力がすばらしく、他の日本人観光客からも「態度がすばらしいです」「子供の時からこんな体験ができてうらやましいです」などの言葉をかけられました。校長としてちょっぴり誇らしい瞬間でした。

交流会 セットマール校来校 ~5、6年生がおもてなし~

12月6日(水)、前回交流 会で訪問したセットマール校 の皆さんが来校しました。こ の日は5、6年生が前回の訪 問のお返しにと、精一杯のお もてなしを行いました。

到着後、体育館ではじめの 会に続いて I O グループに分 かれて「日本クイズ」を実 施。その後、四つのブース



(①ドッヂボール、②学校案内+お箸体験、③習字体験、④昔遊び)で日本の文化や遊びを体験していただきました。体育館で記念撮影の後、3教室に分かれてのランチタイムでは、セットマール校の皆さんにラポンポネットのお弁当を食べていただきました。最後は、体育館で終わりの会を行い、終了となりました。

迎えた5、6年生は、事前に本校フランス語の先生からアドバイスをいただき、あいさつや説明を 日本語とフランス語の両方で行いました。また、それぞれの体験では、フランス滞在歴の長い児童が 率先してフランス語で説明しました。

コロナ禍で中断していた後、久しぶりに再開された本校での交流会でしたが、来校した生徒さんた ちはみんな笑顔でパリ日の門を出ていかれました。次年度に向けて、今回の内容を十分に検討して、 さらに実りのある交流会を目指したいと思います。

小学部1・2年生 冬のサンカンタン池を探検



12月8日(金)、小学部Ⅰ、2年生が冬のサンカンタン池の観察に出かけました。この冬は雨の日が多く、当 日も心配されましたが、雨に降られることなく無事に観察を終えました。ただ、例年使えていたトイレが使えなく なったため、見学時間を短縮して実施しました。冬のため木々が葉っぱを落とし、ずっと手前からサンカンタン池 が見渡せました。池には白鳥やカモなどが泳ぐ姿がたくさん見られ、歩いている途中にウサギやリスも顔を見 せてくれました。動物コーナーでは羊が何頭も近くに寄ってきました。短い時間でしたが自然のあふれる冬のサ ンカンタン池公園の良さを味わえました。みんな、I学期に比べて歩くスピードが速くなり、見学中の態度も集 中力が増して成長を感じました。今回も多くの発見をしたのではないかと思います。池のそばにはパリオリンピ ック・パラリンピックの自転車競技会場になるベロドロームもあります。ぜひ、ご家族でも一度ピクニックに訪れ てみてはいかがでしょうか。

中学部社会見学 OECDパリ本部



ました。続いて、代表部大根田頼尚様から「教育」について、代 表部佐川龍郎様から「環境」について、また、OECD 事務局職

員の横井眞美子様から事務局で働くことなどについての説明をいただき、それぞれ質疑応答の時間も取って いただきました。

次に、実際の会議で同時通訳を行っているモニタールームに入り、議場の様子を見学したりヘッドホンを通 じての音声を視聴したりしました。また、たまたま休憩時間だった日本人通訳者の方ともご挨拶ができました。 その後、中庭で 2011 年の東日本大震災の後、東北の復興を願って植えた桜の木を見学し、最後に創設 当初のOECDの建物で、今は事務総長の執務室として使われているシャトー前で記念撮影をしました。終わり にあたり、生徒会長の刑部凪咲さんが代表でお礼のあいさつを述べました。

OECDは「より良い暮らしのためにより良い政策の構築に向けて動く国際機関」で、1961年から活動している国際機関だそうです。具体的には、貿易、農業、税金、教育、環境など40以上の委員会で話し合いを行ったり、調査を行ったりしているそうです。現在、先進国を中心に38か国がメンバーで、本部がパリにあります。直接私たちと接触する機会が少ない機関ですが、本部がパリにあるおかげで今回の訪問が実現できました。お忙しい中、このような機会を作ってくださった中橋様をはじめ、ご説明やご案内をいただいた皆様に心から感謝を申し上げます。

「サクソフォンとピアノのミニコンサート」実施



12月18日(月)、5校時に日本とフランスでも活動しているサクソフォン奏者の塙美里さん、フランスの他日本でもパリ管弦楽団のメンバーと共演しているピアニストのローラン・バグシャルさんによる演奏会が開かれました。当日の体育館はこれまでにない寒さで、演奏者の皆さんには大変でしたが、迫力のある生の演奏で全校児童生徒が集中して鑑賞できました。曲目は、ドップラー作曲「ハンガリー田園風幻想曲」、フォーレ作曲「ヴァイオリンソナタ第1番」より1・4楽章、メンデルスゾーン作曲「チェロソナタ第2番」より第1楽章でした。

最後に、日本でもよく歌われる「翼をください」と「ふるさと」を、ピアノとサクソフォンの伴奏に合わせて全員で歌いました。特に「ふるさと」は、2011年に起きた東日本大震災で、被災した方々を元気づける歌として各地で歌われています。パリ日の体育館にも大きな歌声が響きました。全校が本格的な音楽に触れる貴重な体験となりました。

中学部 I 年生JEOLへ社会見学 ~世界トップレベルの電子顕微鏡体験~

12月19日(火)、中 学部1年生がJEOL (日本電子)へ社会見学 に訪れました。最初に会 議室で、欧州支配人の 小林雅幸様から会社に ついてお話をいただき、



次に「電子顕微鏡で見るミクロの不思議」に関する講義を拝聴しました。

その後、生徒一人一人が電子顕微鏡の操作を行い、花粉や髪の毛の断面の写真を撮りながらミクロの世界を体験することができました。また、透過電子顕微鏡と質量分析計の見学ツアーを実施していただき、電子顕微鏡で原子が見えることや、質量分析計で苺ジャムと本物の苺の香り成分の違いやカフェイン入りとカフェインなしのコーラの違いも体験しました。普段、学校の顕微鏡では見ることのできない、100万分の1を超えるといった未知の世界を体験でき、たいへん充実した時間を過ごすことができました。お忙しい中ご対応いただいた小林欧州支配人をはじめ、JEOL のスタッフの皆様に心から感謝申し上げます。

小学部6年生ポンピドゥーセンターへ ~現代アートを体感!~

12月20日(水)、小学部6年生がポンピドゥーセンターへ社会見学に訪れました。早めの昼食を屋外で取る予定だったため、天気と寒さが心配されましたが無事に終了することができました。



今回はフランス人ガイドのパトリシ

アさんのフランス語での解説を、本校のレア先生が日本語で通訳する形で見学しました。最初にマチスの二つの作品を比べながら、カメラが発明された後の絵画の変化について解説していただき、近・現代絵画が表現しようとしているものについて学びました。また、普段は入れない作品の中に入れていただき、直接アートに触れながら鑑賞する体験もできました。最後に最上階からパリの風景を眺めました。近くのノートルダム大聖堂も着々と工事が進んでいる様子が見られ、師走のパリ中心部の様子を一望する貴重な機会となりました。

モンティニー市広報 親師会からの寄付贈呈掲載

12月1日発行のモンティニー市の広報「L'ignymontain」第240号に、II 月に親師会三役で寄付金を贈呈した際の様子が掲載されました。パリ日にとって、たいへん貴重な記録となりました。学校だよりでも紹介しましたが、当日市長さんからたいへん感謝されました。オリンピック・パラリンピックを前にパリ日とモンティニー市の関係が、ますます良好になっていくことを願いたいと思います。



パリ日ホールがまるで"ミニ美術館"

図工や美術の授業で作成した作品が、本校 のホールなどに展示されています。どの作品も 一生懸命に取り組んだ跡が見られ、いずれも 質の高いものばかりです。

本校では小学部 I 年生から6年生までが様々な美術館を訪れています。その成果が十分発揮されて、パリ日ホールがまるで"ミニ美術館"です。



パリ日"語学力向上"への試行 ~中 3・小6合同英語授業~

学校評価保護者アンケートでも要望が 大きかった「語学力向上」に向けて、試行 しています。中学部3年生と小学部6年生 が合同で英語の授業を行いました。グルー プに分かれてお互いの自己紹介をした後、 「エアコンのない暑い夏とヒーターのない



寒い冬のどちらが良いか」などのテーマを英語で議論しました。授業中、全て英語で話す体験を、今後とも 色々な学年で少しずつ試行していきたいと考えています。

学校備品・消耗品 徐々にリニューアル!

調理室の調理器具が少しずつ新しくなっています。新しいまな板6枚、木製のへらなどの食器が届きました。次回の調理実習から使用していきます。この他、ミシン12台の修理が完了しました。こちらも、今後授業で活用していきます。

また、各教室の時計が全て新しくなりました。日本 製の電波時計です。学校予算には限りがあります



が、これからも徐々に校内の備品・消耗品を少しずつ新調していき、教育活動の充実につなげたいと思います。

^{ಕのネたっ} 甲 辰 "2024年版カレンダー"ありがとうございました

カレンダー寄贈の呼びかけをしたところ、小学部3年の O さん、Y さん、小学部4年の M さん、小学部5年の U さん、小学部 6 年・中学部2年の I さん、中学部2年の A さん、H さん、小学部2年・5年・中学部2年の O さん、中学部3年の N さん、以上のご家庭から2024年版のカレンダーをいただきました。各教室を中心に有効に活用させていただきます。どうもありがとうございました。

"特集"開校50周年記念 ~パリ日の「宝」~第2部

【第7回】ホールに輝く「赤富士桜」の額

もうすぐ新年を迎えます。日本では、 昔から初夢で見ると縁起が良いとされる「一富士 二鷹 三茄子 (いちふじ に たか さんなすび)」という言葉があり ます。一番が富士山、二番目が鷹という 鳥、三番目が野菜のナスです。諸説あり ますが、富士山は「不死」や「無事」を 意味し、鷹は「高い」、茄子は「成す」 という意味があるからだそうです。

パリ日のホールにある富士山の額は、林武(はやしたけし)という画家の 「赤富士桜」が原画で、七宝焼きという



作品になっています。林武は、明治29年生まれ、昭和50年没の日本の洋画家で、本名は武臣(たけおみ)と言いました。東京都出身で、大正末期から画家として活動を始め戦後には原色を多用し絵具を盛り上げた手法で女性や花、風景などを描き人気を得ました。晩年には国語問題審議会の会長も務め、1967年(昭和42年)には文化勲章も受章しています。

さて、この「赤富士桜」の額は、平成の終わりの頃、今の天皇陛下が皇太子だった時に本校を訪問した際、記念としていただいたものです。日本を代表する山「富士山」と、日本を代表する花「桜」が同時に描かれた作品は、特に外国人のお客様が来校した際に大好評で、IO月の「パリ日祭」でもじっくりと眺めてる方がたくさんいらっしゃいました。

日本を象徴する縁起の良い風景の作品を、日本の象徴である方からいただいたこの額、今後もずっと パリ日の「宝」となることでしょう。